

# 競 技 上 の 確 認 事 項

大会競技委員長

## 1 競技規則について

2025年度公益財団法人日本バレーボール協会の定める6人制競技規則による。ただし、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。

## 2 競技方法について

### 【男子の部・女子の部】

- (1) 予選はリーグ戦形式で行い、その後、順位戦をトーナメント形式で行う。
- (2) 予選は、2セットマッチ（21点先取デュースなし）とする。
  - ※ リーグ戦は、勝ち2点、引き分け1点、負け0点の勝ち点制とする。
  - ※ 各組内で2チームの勝ち点と同じとなった場合は、①直接対決での結果、②得点率（総得点÷総失点）、③抽選の順で順位を決定する。
  - ※ 各組内で3チームの勝ち点と同じとなった場合は、①得点率、②抽選の順で順位を決定する。
- (3) 決勝トーナメントは、3セットマッチとする。
- (4) 3位決定戦は行わない。

### 【混合の部】

- (1) トーナメント形式とし、3セットマッチで行う。
- (2) 1回戦終了後に、1回戦敗退チームによる親睦試合（2セットマッチ、21点先取、デュースなし）を行う。

## 3 チーム編成について

- (1) 提出されたチーム構成表（エントリー用紙）は全試合に適用し、選手の変更は認めない。ベンチスタッフを変更する場合は、所定の用紙を使用し、代表者会議開始までに大会本部に提出する。
- (2) 試合時にフロアへ入場できるのは、当日エントリーされた者のみとする。ただし、合同練習時、隣接コートへのボール侵入防止のため、チーム関係者がフロアへ入場することは認める。

## 4 ベンチスタッフの服装について

- (1) ベンチスタッフは、ジャケットを着用するかチームで統一された服装でなければならない。また、短パン、Tシャツは不可とし、シャツのイン・アウトについてはチームの判断に任せるが、その場合ベンチスタッフ全員が統一されていなければならない。ただし、空調の無い会場においては試合中の防寒着の着用を認めるが、試合前後の挨拶時は統一した服装とする。
- (2) 監督がジャケットを着用し、その他のベンチスタッフが統一された服装であれば許可される。
- (3) 統一された服装であっても、タンクトップのような形状のシャツ類、短パン、ハーフパンツは許可されない。
- (4) 試合中、左胸部に規定の監督、コーチ、マネージャー章をそれぞれ着けなければならない。
- (5) 小学生がベンチスタッフとして入る場合、短パン、Tシャツを認める。Tシャツの色は他のベンチスタッフと異なってもよい。

## 5 試合進行について

- (1) 試合開始時刻は、大会要項に記載してあるとおり第1試合のみ設定する。
- (2) 第2試合目以降は、競技委員の指示があるまでコート後方で待機する。競技委員によるコートチェック終了後、競技委員の指示によりベンチ入りし10分間の合同練習を開始する。
- (3) 合同練習は、隣接コートの試合に支障をきたさない範囲でボールの使用を認める。ただ

し、ネットを使用しての練習は禁止する。

- (4) 合同練習終了後、プロトコールに入る。また、全試合で公式練習を行う。
- (5) 試合の終了したチームは、速やかにベンチを空ける。また、キャプテンは記録用紙へのサインを済ませる。
- (6) 試合前後の挨拶は、ネットを挟んでの握手を行う。また、キャプテン、監督とレフェリーはフェアプレーの精神で握手を行う。  
※ 握手の可否については状況に応じ、代表者会議にて最終決定する。
- (7) 男子の部、女子の部については予選リーグ戦終了後、混合の部については全チームの1回戦終了後に、30分程度の昼食時間を設ける。

## 6 試合中について

- (1) 監督、コーチ、マネージャーは、子どもの健全育成を目指す指導者としての自覚を持ち、不適切な行為そのものはもちろん、誤解を招くような行為も厳に慎む。
- (2) 監督は、ボールデッド間に、立ち上がってコート内の選手に必要な指示を与えることができる。このことは、監督がみだりに立ち上がる行為を容認するものではない。また、ベンチスタッフが自然発生的に喜びの表現として偶発的に立ち上がる行為は許容範囲であるが、監督以外が、毎回のように立ち上がったり、数歩前に出たりする行為は認められない。さらに、監督が、選手とハイタッチをしたり、飛び跳ねたりする行為、及び相手を威嚇する行為も認められない。
- (3) 床に落ちた汗はコート内の選手が拭くため、複数の選手にタオルを携行させる。
- (4) うちわ等については、セット間及びタイムアウト中のクールダウンに使用する場合にはのみベンチへの持ち込みを認める。
- (5) マスコットのぬいぐるみ、千羽鶴等やメガホン等音響効果のための用具の持ち込みを禁止する。
- (6) 水筒やスクイズボトル等は小さなかごに入れて保管し、直接床に置かない。また、ペットボトル、キャンプカートの持ち込みを禁止する。
- (7) 携帯電話やトランシーバー、タブレット等の電子機器の使用は禁止する。

## 7 応援マナーについて

- (1) 応援マナーの厳守は、監督の責任において徹底させる。相手への威嚇、審判団へのクレーム、あるいは類似した行為は慎み、積極的に感謝と称賛の意を表すように努める。
- (2) 横断幕は、試合をしているチームのみが1枚掲出し、試合後直ちに撤去すること。掲出の際は、観客の視界を遮ることがないように手摺りの下部に紐等を使用して固定すること。(ガムテープ等粘着性のあるテープの使用は一切禁止)
- (3) のぼりは、試合をしているチームのみが掲出し、試合後直ちに撤去すること。掲出の際は、観客の視界を遮ることのないように観客席の最後部に紐等を使用して固定すること。(ガムテープ等粘着性のあるテープの使用は一切禁止)
- (4) 鳴り物(太鼓やラッパ等、大音量の出るもの)の使用やうちわ等用具類を叩いての応援は禁止する。
- (5) メガホンの使用及びメガホン同士を叩いての応援は認めるが、音量は常識の範囲内にとどめること。
- (6) 施設及び付帯の設備等を叩きながらの応援は禁止する。
- (7) カメラ等のフラッシュ撮影は禁止する。
- (8) その他応援マナーについては、大会競技委員長の指示に従うこと。